

これまでの部会意見の概要

■ 平成27年度 第1回子ども・教育部会（平成27年6月19日開催）

○西山課長 子育て家庭が孤立しやすい状況にある中、子育て家庭と地域とのつながりをどう作っていくのが難しい問題。できるだけ早い時期からつながりを作る意味で、例えば妊婦と地域とでつながりができる仕組みをどうするかをテーマにしてはどうか。

○中浦課長 教育では、子どもの体力が低下しているため、各学校においても体力づくりに取り組んでいかなければならない。区内では多くの団体が様々なイベント、行事等を行っているので、そういったところも活用して、健やかに子どもたちを育てていく観点でどういった取組みができるのか、というようなこともテーマの一つとしては考えてはどうか。

○西野委員 子育てネットワークと青少年の健全育成。

○田中議長 部会テーマとしては「子育てネットワークと青少年健全育成、並びに体力づくり」についてを考えていく。

■ 平成27年度 第2回子ども・教育部会（平成27年8月24日開催）

- 松井委員 「子どもの教育で何が重要か」というアンケートについて、私の地域では、「家庭における基本的な教育」が一番大事だと思っている。学校教育は学校がやることで、地域では何ができるかというような形で過去2年間、小学生と中学生に「家族のきずな」というエッセイを書かせて、文集にして渡している。人間なかなかそういう活字になって述べるということは一生のうちでもなかなかない。掲載することで、子どもが大化けする可能性がある。
- 小谷委員 先生の計り方が全然なっていないという学校が結構多かったみたいで、それで大阪市と他の県とかでも、差が出てきたというのもある。今年、握力の計り方等に関するDVDを作り、各学校に渡すことになっている。
各学校にアスリートが行って、やり方とかを教えてくれたらどうかという意見を出している。正しいやり方を子どもたちが見れば関心を持つようになる。
- 清水委員 各運動の中身がこういうふうになるとスコアが伸びるといふところを見れば、子どもらもまねをするし、わかると変わってくる。
- 西野委員 公園などは規制が多くて、気軽に動ける場所がなかなかない。安心して子どもたちが遊べる場所を作ってあげて、そこを時間割りするとかはどうか。
- 濱田副議長 地域の中ではサッカーをやっていて、スポーツだけでなく、しつけをやってくれる。体力も相当ついているだろうし、親御さんが非常に喜んでいる。また、別の地域ではやソフトボールをやっていて、親御さんがボランティアみたいなもので一生懸命力を入れてやっている。そういうような話を聞くと、やり方もあるのではないかと思う。

■ 平成27年度 第3回子ども・教育部会（平成27年10月30日開催）

○小谷委員 教育委員会でも読書活動の推進に力を入れていて、週に2回学校の図書館を開けても子どもがなかなか来ない。子どもが本に関心を持たないという問題を考えるには。

○濱田副議長 図書は小学校中学校に向けた専門家の司書がいないと、中途半端な人が頭数だけいてもしかたがない。

地域でもし良い本があれば区役所に寄贈してもらって、子どもも時間があつたら下のパンジーに来て見てもらえるようなことにしてもらいたいなこともいいのではないか。

■ 平成28年度 第1回子ども・教育部会（平成28年6月21日開催）

- 三枝委員 「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」は子育て家庭と主任児童委員とがつながって、相談しやすい関係づくりになる。あとは、商店街でお得な活用ができる。しかし、地域コミュニティの希薄化により子育て家庭が孤立しやすい問題の解決には直接つながっていない。主任児童委員という決まった方とつながっているだけなので、一般の住民といかにつながりをつくるのかが課題。
また、つながりを作ろうと思わない人にどうやって参加してもらうのかが課題。
- 小谷委員 体力というのは幼児期から。学校の先生たちでも投げ方や走り方がバラバラなので、体育系大学の講師やアスリートを呼んで、子どもたちに教えるのが一番。各学校で時間を決めての土曜授業等で大学やアスリートを呼んで、正しい運動の仕方を教えるという計画も立ててもらいたい。
- 小谷委員 市のPTA協議会で、子どもたちを呼んで携帯電話が良いとか、悪いとかを討論する「関西スマートサミット」という取組みをしている。各区でも問題に突っ込んで取組みを進めている。東成区もスマートフォンの取組みをやるなら、市のPTA協議会や各区の取組み資料を集めたら参考になるので、事例を活用してもらいたい。講師を呼んでの講義より、子どもたちを交えての話し合いみたいな感じでやったほうがすごく身につく。
- 小林委員 公園ではボール投げができないので、もう少し公園を開放してあげたい。土曜日だけはボール投げを許すなど、時間制限をするなど、何か方法がないか。
- 小谷委員 放課後に校庭でボール投げができる時間を作っている小学校がある。しかし、時間外なので保護者が見るといって形ではしか実施できない。
- 三枝委員 おかしなボール投げ方や走り方をするが子が増えてきた。外遊びをしないことで体のバランスが悪くなっているのではないか。幼少期からの積み重ねだと思う。
- 濱田副議長 長居競技場について、競争ではなくて、本当の体力づくりをしっかりとってもらいたい。
- 三枝委員 長居競技場に行くときに、アスリートを呼ぶというのはいかがでしょうか。
- 濱田副議長 体力テストについて、全国平均が47都道府県の中の何位ぐらいが平均なのか。しっかりしたデータのもとに考えないといけない。
- 濱田副議長 「すくすくつながるクラブ」で企業側の迷惑にならないよう。

○三枝委員 「すくすくつながるクラブ」で業績目標に人数を増やすだけっていうのは、目に見えた数値目標にはなるが、それで子育てネットワークが構築されたとは言いがたい。業績目標の人数を増やすだけではなくて、そこからどんな形のいいところに結びついたかというところへもっていったら、市民の目標になると思う。